

心の窓



校訓：かしこく やさしく あかるく つよく

令和4年1月27日(木)

南関町立南関第四小学校 学校だより

No.38

文責：松永 尚子

コロナ感染症の感染拡大がとまりません。

1月に入って、新型コロナウイルスについては、毎日の感染者の数が増えており、たいへん心配されます。新聞を見ると、まん延防止等重点措置についても、26日には、18道府県を追加適用され、34都道府県に拡大されたとありました。また、1日の新規感染者が6万人を超え、また、熊本でも1千人を超えました。

今までも、感染拡大を防ぐ取り組みをやってきましたが、これから、より一層の取り組みが必要だと思えます。学校では、とにかく「つば」ととばさない、そして「換気」を心がけています。教室は暖房だけでは暖まりにくいので、ストーブも設置しました。そして、窓を開けて授業しています。歌やリコーダー、鍵盤ハーモニカはやはりリスクが高いので今しばらく休止です。

今回の「オミクロン株」は感染力が強いと言われています。いろんな対策をしても広がるかもしれません。私たちは、10月の人権の日熊本県で10番目に新型コロナに感染された、前田強様のお話を聞きました。感染対策はしっかりしますが、感染を防ぐことはできないかもしれません。だからこそ、前田様が話されたこと『もし、自分や家族や友達がかかったら、どうするか』を常に考えて、他人を思いやる気持ちをもって、温かい言葉や励ましの言葉をかけることができる人であってほしいです。悪いのは感染した人ではなく、ウイルスです。一人はみんなのために、みんなは一人のために、思いやりのある行動をできる人になってほしい』ということばを胸に、日々、がんばっていきます。

サッカーにも挑戦しよう！！

25日、2年生の体育は、サッカーでした。このサッカーは、子どもたちの中では、かなりの個人差がありました。とにかく、足でボールを蹴るといふことの経験が少ない子どもと、とっても慣れている子どもとが極端でした。そこで、担任の上村先生は、とにかく、みんなが楽しくボールを蹴るといふことを心がけて、列ごとのボール運び競争やボール蹴り競争などで楽しませていました。ボールを使った運動は、ボールにどれだけ触れていたかが大事です。みんなですると何でも楽しいね。



ミシンを使うと縫うのがはやいね。

5年生の家庭科では、ミシンを使った学習をしています。前期には、手縫いの学習をしましたが、このミシンを使うのは初めての経験で、みんな四苦八苦しながら取り組んでいます。ボビンに糸を巻くのも初めてです。ボビンをセットして、上糸を順番にかけて…。ミシンは、決まっておりにしていないと、ちゃんと動いてくれません。

5年生9名は、お互い教え合いながら、集中して取り組んでいました。基本縫いの練習をしたら、次はエプロンづくりです。楽しみです。



じしゃくっておもしろいね。(3年生)

3年生の理科では、今、「じしゃくのふしぎ」の学習をしています。磁石を身の回りの物に近づけたときにどのようなのか調べる活動を通して磁石の性質などを学んでいきます。

1月25日(火)は、その1時間目でした。U字型や丸型などの磁石をくっつけたり、離してみたりして、磁石の性質を調べてみました。「あれ、磁石同士でおいかけてことができるね」「これは、くつつくよ」など、さまざまな声があがっていました。これからも、意欲的に学んでほしいです。



玉名荒尾書き初め大会入賞おめでとう

1月20日に書き初め大会の審査があり、四小から、9名入賞しました。

【1年生】前川みちるさん

【2年生】島田あおいさん

【3年生】作野ももかさん

【4年生】嶋村いささん

【5年生】野口さえさん、黒田ゆうとさん

【6年生】伊藤ほのさん、星先いいちさん

※伊藤ほのさんは入選、ほかのみんなは佳作の入賞でした。おめでとうございます！！